くらしの知恵袋

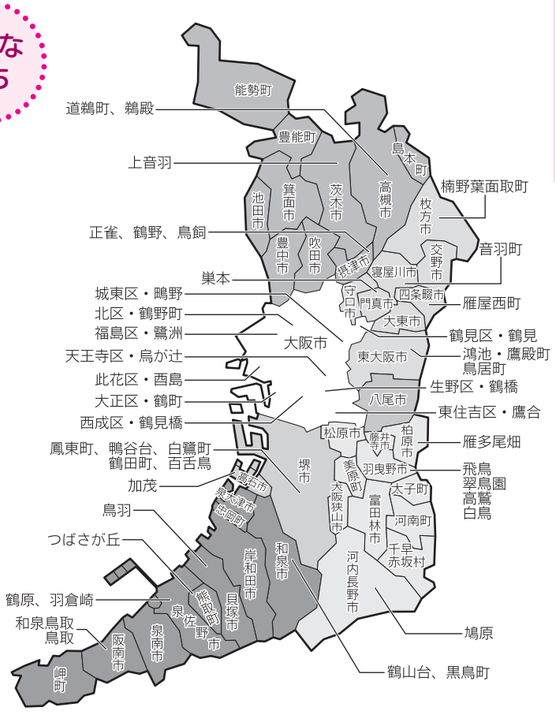
薬味の保存

鍋や刺し身のおいしい季節。お料理の仕上げに薬味があるのとないのでは大違い。しかし、たくさん使うものじゃないから上手に保存したい。ショウガやワサビは丸ごと冷凍して凍ったままするおろす。ユズやレモンは皮としぼり汁を分けて冷凍。香りはとばないし、少量だけ使えると便利だよね。

おおさか トリ・ビア

大阪にこんなにトリがいた!?

大阪府下に鳥に関係する町名がどれくらいあるか調べてみました。



正雀（摂津市）

こんなまち

摂津市の町で、「しょうじゃく」と読むのはなかなか難しい。正雀駅は阪急京都線の駅。摂津市と吹田市の境にあり、電車の車庫があるため正雀始発・終着の列車が設定されている。周辺には大阪学院大学、大阪人間科学大学、大阪薫英女学院などがある。

百舌鳥（堺市）

堺市の町で「もず」と読む。周辺には仁徳陵古墳などの古墳群がある。ほぼ中心にある百舌鳥八幡宮は、欽明天皇（532～571年）の頃に建てられ、樹齢800年の大楠がある。毎年秋には、大小16基の布団太鼓が繰り出す奉納祭は有名だ。

鶴橋（大阪市）

名前の由来

鶴橋の元々の呼び名は「つるのはし」でわが国最古の橋。もとの平野川にかけられていたが、大正時代後期に川が埋め立てられ廃橋となった。昔このあたりによく鶴が飛んできて集まったことから「鶴橋」と呼ばれるようになったという。

第33回公害環境デー

環境優先－安全・安定の大阪10年

- 記念講演
  「生きものと農のあり方を探る」
  植松千代美さん（大阪市立大学理学部付属植物園）
- シンポジウム
  「環境優先－安全・安定の10年」
  ～ほんとの「循環型社会」「SS永続可能な社会」ってなに～

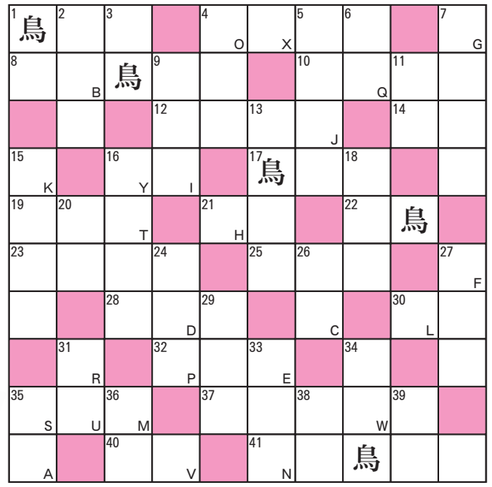
とき 2005年1月29日（土）
午後1時～4時
ところ 大阪NPOプラザホール（福島区吉野）
参加費 無料

主催 第33回公害環境デー実行委員会

新春 ジャンボクロスワード

パズルを解いてからアルファベット順に並べて出来た言葉が答えです。あらかじめ入っている「鳥」の字は、意味に関係なく、「トリ」またはチョウと読みかえます。

出題 山本汎昭さん（東大阪）



〈タテのカギ〉

1. 健康だけが私の○○○です
2. 候補者の名前を○○○する
3. 公孫樹、何と読む？
4. ♪ハハ、○○○だね
5. 勝ったままで逃げること
6. ジャンケンでグー
7. 誇大○○○○、被害○○○○
9. ♪誰が○○○か先生か
11. ○○書き算盤
13. 視覚と聴覚
15. 商品の品質等について参考意見を出す人
16. 一流には及ばない
18. オスとメスとの一対
20. 入れ歯
24. 素性。○○○不明
26. サル○○合戦
27. ○○○から目薬
29. 指の運び、指遣い
31. 根拠のないうわさ話
33. 山海の○○○
34. 警察署、研究所等のチーフ
35. 見込み、○○がはずれる
36. 共謀者。○○になって悪さをする
38. 3割3分3○○
39. ○○を忘れたカナリア
30. メカニズムの略
32. 一休さんと言えば
35. 雨降りの時に用いる用具
37. 自由○○○○○では高額な医療費が
40. ○○番電話
41. ゴシック体と○○○○○○

〈ヨコのカギ〉

1. 朝の会
4. 取引所で月の最終の立会
8. ブレーオフ
10. 知恵のある大将
12. 生きることと死ぬこと
14. 手前○○
16. ○○を追う者一兎も得ず
17. 陰暦11月の異称
19. ○○○鮨
21. エレジー
22. 絵を描くための帳面
23. いろいろな趣味を持つこと
25. 俳句を作り、批評し合う会
28. 羽

応募方法

解答の言葉・組合名・氏名・住所を書いて2月5日までに〒530－0041 大阪市北区天神橋1丁目13－15、大阪グリーン会館4F、大阪自治労連へ。解答と一緒に近況や感想を一言そえてください。

解答者の中から10人の方に図書券（千円分）を進呈。ハガキは「おたよりちょうだい」に掲載させて頂くこともあります。

12月号の解答と当選者

12月号の解答は「教育基本法」。43通の応募があり、抽選で次の方に図書券（千円分）を送ります。

池田 隆司（堺市職労）
杉本 美枝（貝塚市職労）
丹羽 淳美（高石市職労）
宮内 友子（岸和田市職労）
山本 早苗（松原市職労）
畑中 邦子（八尾市職労）
藤田 桂子（門真市職労）
中井 吉和（交野市職労）
後藤 啓二（寝屋川市職労）
谷合美哉子（府職労）

歴史のお散歩道 30

陰陽師（おんみょうじ） 安倍晴明 没後1000年

安倍晴明神社（大阪市阿倍野区）

安倍晴明公が祀られているこの神社は、1007（寛弘4）年の創建と伝えられている。平安時代、陰陽師として活躍した安倍晴明は、白狐の血を受け継ぐなど多くの伝説をもつ謎の人物。最近小説や映画などで脚光をあびた晴明が亡くなって今年でちょうど1000年にあたる。晴明は伝説によると921年安倍保名と和泉の白狐「葛の葉姫」の間にできた子で、阿倍野で生まれたとされる。出生地については、奈良説、茨城説などがあるが、ここの境内には「安倍晴明生誕伝承地」の碑が建っており、産湯の井戸跡もある。

現在の社殿は1925（大正14）年再興されたものであり、学術技芸の神、火難痛難災除の神、安産の神として信仰されている。

編集後記

2005年を迎え、正月の新聞の社説をみると「読売」は、脱戦後をキーワードに「憲法9条が一国平和主義という戦後の幻想を生んだ」と非難し改憲を叫ぶ。「産経」も「戦後の終焉」で憲法改正と同調。「朝日」は東アジア共同体への動きを支持する、「毎日」は「もっと楽しく政治をしよう」と憲法問題をわざと避ける社説。新聞ジャーナリズムの衰退の深刻さを感じる。今年は機関紙の役割が今まで以上に重要になっている。